

4. 安全で活力あるまちへ

にぎわいと持続可能性を両立させ、安心して住み続けられるまちづくりを進めます。

脱炭素社会を推進し、気候変動への対策をすすめます。

1) 中小企業・商店街の支援の充実

区内事業者間のネットワーク構築 実施は未確認 産学連携事業 明大との連携で「中野チルナイトピクニック～タ涼みアニメシアター」を実施。	チルナイトピクニックはいい取り組みです。区内事業者ネットワークは重要ですが、実施は確認できませんでした。	M	△	5	2.5	
24-区内事業者へのオンライン化支援 (IT・DX導入資金) を実施	IT・DX導入資金は重要な施策だと評価します。	M	○	5	5	
高齢者、女性、若者、障害者等への就労支援 高齢者就労支援は、区内ではシルバー人材センターのみ。 24-「女性しごと応援フェア (しごと財団共催)」、「福祉のしごと相談・面接会 (社協共催)」、「シニア向けおしごと就職相談・面接会」、「保育のおしごと就職相談面接会 (杉並区共催)」、「わかもの向け就職相談・説明会 (杉並区共催)」、「女性しごと応援キャラバン (しごと財団共催)」 23-重度障害者等就労支援特別事業 (業務介助など) を実施 23-障害者職場体験の実習生を受け入れた企業に対し、「障害者職場実習受入奨励金」を支給開始 ・人材確保総合支援事業補助金：事業者の人材確保経費を助成	多様な就労相談が実施されています。重度障害者への業務介助なども大事な施策です。	M	○	5	5	←注目!
商店街におけるデジタル化・ICT化の促進 ・商店街チャレンジ戦略支援事業として、商店街のキャッシュレス化支援を含む様々な商店街イベント・活性化事業への助成が開始されている。 24-デジタル地域通貨「ナカベイ」がスタートした。	商店街チャレンジ戦略支援事業は大事な施策です。なかベイは加盟店の手数料がないので商店支援にもなります。コミュニティポイントとの連動に期待します。	M	○	5	5	←注目!
個店・スタートアップ支援、アドバイザーネットワークの構築 23-創業者等に対して「経営」「財務」「人材育成」「販路開拓」の4分野の知識習得のために継続的な支援が実施されている。アドバイザーネットワークは構想段階。	スタートアップ支援は大事です。アドバイザーネットワークは構想段階の様様。	M	●	5	3.5	
なかの里・まち連携事業は毎年継続実施されています。新庁舎で展示情報の発信が強化されています。24-経済交流でのオンライン導入も実施されています。 24-山梨県丹波山村となかの里・まち連携宣言	里・まち連携事業も大事な施策です。もっと区民生活に関連深い分野 (たとえば学校給食の食材) でも連携できるといいですね?	M	○	5	5	

2) 文化・芸術によるまちづくり

新たな魅力の発信 24-3月中野サンプラザプロジェクトマッピングを実施。24-子ども文化芸術振興基金が設立され、音楽・エンタメ・ダンスなどの子どもむけイベントが実施されている。 24-Art×Nakano-アートに出会う区役所としてアールブリュットなどアート展示が実施されている。25-3月中野ショートフィルムフェスティバル「ナカノヌ」が実施された。	子どもむけの文化・芸術イベントの実施は大事な施策です。ショートフィルムフェスも若者の地域参加にも貢献していると評価します。	M	○	5	5	←注目!
アニメ、サブカルの活用 23-杉並区・豊島区と連携してアニメマンガフェスを開催。24-中野チルピクニックシアターでアニメ「長靴をはいた猫」上映。25-「アニメでつながる中野実行委員会」が発足しアニメ作品をストリートアートとして展示する「NAKANO ミュージカル・アニメロード」が誕生	アニメイベントやミュージカルアニメロードなど、アニメの活用はいいですね!	M	○	5	5	
23-ミュージカルプロジェクトは5か所で実施された。中野駅北口駅前エリアの文化芸術発信拠点整備は、いったん止まっている。	ミュージカルプロジェクトは好評です。中野駅北口での文化芸術発信拠点については、まだ先がみえません。	M	△	5	2.5	

3) 区民の意見を反映させた再開発と駅前エリアマネジメントの推進

24-中野駅周辺エリアマネジメントアクションプラン(案)が作成された。「寛容性が生み出す日本一多様な文化のまち・中野」というコンセプト。	コンセプトはともいいです。実際にどうかされていくのか注目です。	M	●	5	3.5	←注目!
なかの駅西口南北通路・橋上駅舎の整備 20-工事が開始され、26-竣工予定	南北通路と橋上駅舎は、中野駅のバリアフリー化・混雑解消にとって必要です。	M	○	5	5	←注目!
駅前広場の整備 (北口・西口・南口) 25-中野駅北口駅前広場の工事が開始され、26-デッキ、29-交通広場が運用開始予定。23-なかの駅桃園広場 (西口広場) 整備工事が開始、26-南北通路、28-西口完成の予定。23-南口駅前広場整備工事開始	駅前広場は防災上も区民にとっても大事です	M	○	5	5	←注目!
土地区画整理事業 25-中野二丁目 (南口) 再開発の事業計画を変更した。2つの広場・1つの公園・歩道整備を含む。29-完成となる。なかの三丁目土地区画整理事業は、新たにできる南北通路と中野駅西口前の広場と隣接する高層建築という計画。 24-中野駅北口再開発は、いったん止まった。	中野駅南口の整備、新たにできる南北通路と西口の整備は、歩道・広場・公園を含む計画で一定評価できます。北口駅前の土地区画整備・道路整備は再開発がいったん止まった、注視していきます。	M	△	5	2.5	
25-中野2丁目 (中野駅南口) 市街地再開発事業が完了見込、オフィスビルと店舗・住宅の2棟の高層建物ができる。駐輪場もできた。25-田町地区市街地再開発事業が工事中。	口と田町の再開発はまもなく完了。南側に広場もできるが、2丁目と田町に高層建物が4棟出現する。	M	△	5	2.5	
中野駅北口駅前再開発 いったん止まり、区民や事業者の意見を聴き、方向性をだしなおした。	区民の声を聴いて方向性を出し直したことを評価します。サンプラザを活用できない理由はより真摯な説明が必要です。	H	●	10	7	←注目!
新井薬師前・沼袋駅前拠点等の整備 ・新井薬師駅南側街区については「新井薬師駅前地区再開発協議会」ができ、市街地再開発事業を行う方針で進めている。・新井薬師駅北側については北側街区まちづくり検討会が発足し、アンケートをもとに検討し「新井薬師駅北側街区まちづくり方針」を策定した。 ・沼袋拠点整備については地権者との勉強会が継続されている。 ・上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの会が防災まちづくり提案書を区へ提出。 24-中井〜野方間の鉄道上部空間活用アンケートを実施している	それぞれ、何らかのかたちで住民の意見を聞きながら取り組まれていることは評価します。が、市街地再開発が絡むと「協議会」や「勉強会」という形で決められていく。市街地再開発がからまない「検討会」「まちづくりの会」というオープンな取組になっている。後者を中心に進めてほしい。さらに鉄道上部空間活用で緑が欲しいという声を過小評価 (全体で2番目に多いのに取り上げず) しているのは訂正してほしい。	M	△	5	2.5	

都市計画道路の整備 ・補助220号線（松ヶ丘1～上高田～本町4）を進めている。 ・区画街路第3号線（新井5～上高田4）、区画街路第4号線（沼袋2～1）を新井薬師・沼袋駅前交通広場の整備とセットで進めている。	区画街路3・4号線は新井薬師・沼袋駅前広場とセットであり妥当です。220号線は昭和41年の決定であり、必要性・妥当性は不鮮明です。	M	●	5	3.5	
野方駅周辺、都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺まちづくり 24-「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（野方駅周辺地区編）」を策定。「庶民的で情緒あふれる商店街、ふれあいのまち」 24-「同整備方針（都立家政駅周辺地区編）」を策定。「閑静で品の良い住環境と便利な商店街、落ち着いた暮らせるまち」 24-「鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり構想」を区へ提出「住みたい住み続けたい鷺宮づくり」	それぞれの地域の特色を生かしたまちづくりの方針や構想がつけられています。大きな課題は西武線が高架になるのか地下になるのか？です。まだ決定されておらず、東京都の判断です。複数案を出して住民合意形成をすべきです。	M	●	5	3.5	←注目！
各地区まちづくりと連携した商店街の活性化 23-アドバイザー等専門家派遣支援として2つのまちづくり団体と10人の専門家が登録されている。	10人の専門家のうち8人は開発プランナー・建築士・技術士であり、環境専門家・子育て環境専門家はいません。アンバランスです。	M	△	5	2.5	

4) コミュニティ交通の導入

「コミュニティ交通導入ガイドライン」を作成 地域住民の主体的な参加で導入していく段取りが提示されています。仲間を募り→地域組織づくり→企画・構想→実証実験という流れです。	住民の主体的参加で実現していくという枠組みはとても大事なことです。	M	○	5	5	←注目！
若宮・大和町地区は実証実験を経て、ルートを変更し、住民の利用が大きく増えました	高円寺駅へ行けるというルートは支持されています。	M	○	5	5	

5) 防災対策の拡充

防災対策の拡充 23-防災普及啓発誌「防災ハンドブック」・防災関連情報YouTubeを発信。24-災害対策用備蓄物資の拡充を実施。23-ペットの災害対策を策定 ハザードマップ、地域別の防災地図（4か国語）を発行	地域別防災地図を4か国語および優しい日本語で発行したこと、備蓄物資を拡充したこと、ペット災害対策を策定したことを評価します。	H	○	10	10	←注目！
帰宅困難者対策 帰宅困難者一時滞在施設を確保、複数の言語で案内をすることができるスピーカーと翻訳機を導入	大事な施策です	M	○	5	5	

6) 家庭発の脱炭素社会の実現

再生可能エネルギー設備等の導入支援 23-省エネルギー設備等の設置に係る費用の一部補助が進められ、25-（太陽光発電、蓄電池、高断熱窓、断熱ドア、エコキュート、エネファーム）をまとめて助成案内するようになった。 23-高断熱窓・ドア設置助成を進め、上記のひとつとして充実してきた。R8-電気ヒートポンプ・ガス瞬間式併用型給湯器（ハイブリッド給湯器）の補助を追加。断熱ドア助成は廃止。	省エネルギー設備助成が、個別の助成だったものをまとめて取り組むようにしたことは評価できます。今後、より拡充してほしいです。	M	○	5	5	
地域の脱炭素化と持続的発展を両立するまちづくり 脱炭素ロードマップを策定。23-各地区のまちづくりにおける環境形成型のまちづくりの推進。地区計画における環境配慮の視点（緑化率）の盛り込み、環境行動ポイントの導入	炭素ロードマップの策定は評価できますが、実効性が不鮮明です。事業者や区民が本気になる義務やインセンティブの設計が必要で、環境行動pointに注目します。環境形成型のまちづくりは、各まちづくり方針に本気で反映されているとは思えません。樹冠被覆率を指標化していないことも残念です。	H	△	10	5	←注目！
環境課題での連携・協働 4-エコフェアが拡大実施された。ここで区内でのエコな取り組みが紹介されている。 フードドライブ提供先の拡充は、未確認。フードパントリーは中野区に3つ。社協は常設型フードパントリーをめざしている。	エコフェアは大事な取り組みとして評価しますが、より重要なのは恒常的な取組です。	M	△	5	2.5	
なかの気候区民会議（ワークショップ）の実施	大事な一歩です	M	○	5	5	
環境配慮型公共施設の建設・整備 23-脱炭素社会の実現に向けた区有施設整備方針策定 24-区有施設の新築・改築時における環境性能向上に係る取組の実施 25-推進 中野区役所新庁舎がBELS認証を取得し、都内の市区町村役所の本庁舎では初めてZEB Ready認証を取得。区環境マネジメントシステムの運用と監査も行われている。	新庁舎に伴い、区有施設に置いての取組は大きく前進したと評価します。	M	○	5	5	
区有施設運営における脱炭素化の推進 「中野区電力調達方針」にて、再生可能エネルギー100%の電力を競争入札調達が原則に。24-脱炭素社会の実現に向けた庁有車購入方針	再生可能エネルギー100%の電力購入原則は評価できます、	M	○	5	5	

4. 安全で活力あるまちへ	合計	29	160	128.5	80.3%	
---------------	----	----	-----	-------	-------	--